

事業所名

すてっぷ天久2

支援プログラム 児童発達支援

作成日

2026年

3月

5日

事業所理念		子どもたちが質の高い生活を送れるように「体験し体感する学び」の場を提供する。										
支援方針		利用者の成長段階に合わせた療育を実施し、成功体験を積み重ね自己肯定感を高めていけるように寄り添った支援を行う。										
営業時間		学校日	10	時	00	分	19	時	00	分	送迎実施の有無	有
		学休日	9	時	30	分	18	時	30	分		
支援内容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時の体温測定、体調不良時の保護者連絡等、健康状態の把握や維持を行い、基本的な生活スキルの習得を目指して支援を行っていきます。活動・療育例：手洗い、皿洗い、体温測定、靴の中身チェック、身だしなみ確認、洗濯物たたみ、何時におきる、掃除 等。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体の感覚や感触を刺激するような療育を通して、走る、跳ぶ、投げるといった基本的な運動能力を伸ばせるように支援を行っていきます。活動・療育例：ボルダリング、ポッチャ、ランニング、縄跳び、キャッチボール、平均台、1分間サーキット、風船バレー、ワンバウンドドッチボール 等。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い、空間認識や物の概念形式を促し、適切な距離感や行動の習得できるように支援を行っていきます。活動・療育例：粘土遊び、折り紙、音当てゲーム、ビジョントレーニング、箱の中身なんだろうな、買い物ごっこ 等。 										
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力を伸ばしながら、自分の気持ちを言葉にして表現できるように、会話や様々なコミュニケーション方法の習得できるように支援を行っていきます。活動・療育例：絵カード、トーキングゲーム、音読、説明クイズ、自分の気持ちを言ってみよう、言葉遊び 等 										
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 順番や役割、ルール、感情のコントロールなど社会生活に適応するために必要なスキルの習得できるように支援を行っていきます。活動・療育例：こんな時どうする（SST）、協力ゲーム、いいところ探し、自己分析、勝ち負けゲーム 等 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 活動報告や送迎時の会話等で情報共有を行いながら、必要に応じて面談を行い不安や困り事、要望等への相談支援を行っていきます。 						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 日々、保育園やこども園と情報交換を行いながら、必要に応じて担当者会議を行い、支援者が統一した支援を行える環境作りを行っていきます。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 関係する児童発達支援事業所や相談支援事業所と情報共有を行い、意思統一を図っていきます。 通所支援連絡会への参加を行っていきます。 						職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 新入職員研修 定期研修研修(コンプライアンス、身体拘束、BCP、虐待防止、感染症予防、ハラスメント、接遇、人権等) 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 美術館や工場などの施設見学（美術館、博物館、養蜂園、湿地センター、銀行、お菓子工場、ヤクルト工場等） クリスマス会などの季節に関する行事（いちご狩り、遠足、ハロウィン、クリスマス会、大掃除、正月遊び等） その他のイベント（カラオケ大会、水遊び、避難訓練、劇鑑賞等） 										